政策評価シート(平成27年度実績評価)

◎ 政策の基本情報

総合計	政策No.	3-4	政策名	スポーツの振興	政策の 目指す姿	いつでも、どこでも スポーツに親しみ しています	、いつまでも 、元気に活動	政策 主管課	スポーツ振興課	政策主管 課長名	菊池 郁哉	
画中期プラン	政策の方針		そのた	気軽にスポーツに毅めに、地域における。 がに、地域における。 ポーツ大会の開催に	生涯スポ	ーツを推進し、スポ	ピーツに親しむ	3機会を打	是供するほか、競	竞技スポー	ーツのレベル向上	P

2 成果指標の達成状況

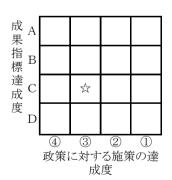
成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたの か)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握する のか)	単位	区分	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	H35
日頃からスポーツに取 り組んでいる市民(20	市民のスポーツ実施割	出典: まちづくり市民アンケート 問: あなたは運動をどの程度行っていますか。 (1)毎日行っている (2)週に3回以上行っている (3)週に1回程度行っている (4)月に1回程度行っている (5)年に数回程度行っている (6)ほとんど行っていない。 (6)ほとんど行っていない。 (1)(2)(3)と答えた20歳以上の市民の割合	%	目標値		50.3	52.4	54.5	65.0
歳以上)の割合	合を示す指標			実績値	47.6	46.2	44.5	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
С	年齢別では、高齢者になるにつれ割合が高くなっており、70歳以上の67.9%が最大値で、30代の22.6%が最小値となっている。年代によってかなり大きな開きがあり、「運動をどの程度行っているか」との設問の、「運動」をどの程度のいベルとして捉えているのか、年代によって解釈が異なっている可能性も考えられる。地域別では、太田・亀ケ森・八日市・小山田・谷内の割合が低く、市街地からの距離が影響していることも考えられるが、一方で内川目・大瀬川・八幡・浮田の割合が高いこともあり、距離だけが影響しているとは言い難い面もある。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H25	H26			H27					前年実績 との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み	とりた地数	
1	生涯ス ポーツの振 興	地域で行うスポーツ教室や 早起きマラソン等の延べ参 加者数(人)	216,806	220,500	216,397	b	225,000	190,981	С	230,000		~	D
	競技ス ポーツの推 進	全国大会出場件数(件)	123	124	135	a	125	117	b	126		A	В
3		大規模スポーツ大会やイベ ントの入込者数(人)	180,967	184,000	182,935	b	197,000	217,806	a	275,000		7	Α

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
C-3	地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等への参加者数は、市の人口そのもの が減少傾向にある影響から、絶対数に伸び悩みの傾向が見られるが、はなまきス
やや遅れてい る	ポーツコンベンションビューローの活動成果により、大規模スポーツ大会やイベントの入込者数は増加している。これをスポーツに取組むきっかけにつなげていくことが必要であり、更なる大会等の誘致を進めるとともに、周知の拡大を図っていく必要がある。また、スポーツ推進委員や地域スポーツ普及員など、地域に根差した活動を活発化させることで、身近なところから生涯スポーツに取組む意識づけを進めていくことが重要であり、特にも若年層への働きかけを強化する必要がある。



5 政策を構成する施策一覧 施策の成果指標の 生涯スポーツの振興 H27 施策名 H26 D 達成状況 [課題] ・直近の市民アンケート調査によると、運動をほとんど行っていない市民の割合が39.2%と、依然高い傾向にある。 1 [今後の方向性] ・気軽にスポーツに取り組めるよう、スポーツ教室等の内容、種類等の拡充を図る。 ・多くの市民がスポーツ教室等に参加できるよう、広く周知を図る。 施策の成果指標の 競技スポーツの推進 施策名 H26 H27 В 達成状況 [課題] ・県大会以上の出場件数は増加しているが、全国レベルの大会出場件数に減少が見られる。 2 [今後の方向性] ・引き続き競技レベルの向上のため、指導者育成の充実・拡充を図る。 施策の成果指標の 施策名 大規模スポーツ大会の開催 H27 H26 В Α 達成状況 [課題] ・大規模スポーツ大会やイベントの入込者数は増加しているが、大会や合宿の誘致件数は横ばいの状態である。

[今後の方向性]

3

・大会や合宿の受入拡大のため、必要な支援策の検討を進め、一層の誘致を図る。